

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

湧水町農業委員会会長 梶 重明 殿

申請者 〇〇 〇〇

下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

1 申請者の住所	〇〇町 △△ 〇〇〇番地				電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇					
(代理人)	氏 名	資 格		住 所							
2 許可を受けようとする土地の所在等	土 地 の 所 在				地 目		面 積 (㎡)	耕作者氏名	市街化区域・市街化調整区域		
	市町村	大 字	字	地 番	登記簿	現 況			その他の区域の別		
	湧水町	〇〇	〇〇	1、234	田	田	1、261	〇〇 〇〇	その他の区域		
合 計	1、261㎡ (田 : 1、261㎡)										
3 転用計画	(1) 転用の目的	1 一般住宅 2 農家住宅 3 山 林 4 その他 ()			(2) 転用事由の詳細	鳥獣被害も多く、生産性が低いためスギを植林して山林にしたい					
	(3) 事業の操業期間又は施設の利用期間	令和7年 11月 から 永久 年間									
	(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	第1期(着工令和7年11月から令和7年11月)		第2期(着工 年 月 から 年 月)		合 計					
	工事計画	名 称	棟数	建築面積	所要面積	棟数	建築面積	所要面積	棟数	建築面積	所要面積
	土地造成										
	建 築 物										
	工 作 物										
	植 林	スギ	175		1、261				175		1、261
	計		175		1、261				175		1、261
4 資金調達について計画	杉苗代 35、000円 自己資金 35、000円 (175本×200円)										
5 転用することによって生ずる付近の土地・作物、家畜等の被害防除施設の概要	土地造成は行わず現状のままで利用し、隣接農地からは幅3m程度の緩衝地を設け、周辺農地に対する日照痛風等に特別な影響を及ぼさないように措置する。雨水は水路へ放流する。										
6 その他参考となるべき事項	代替地について検討したが、他に適当な土地がなかった。 〇〇1518番1 (田: 1、939㎡)、〇〇1522番 (田: 970㎡)、〇〇1507番 (田: 2、057㎡) 所有者と交渉したが価格が折り合わなかった。										

(記載要領)

- 1 申請者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地をそれぞれ記載してください。
- 2 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- 3 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6か月単位で区分して記載してください。
- 4 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときは、その旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。